

# 2020年度第1四半期決算

### 2020年8月7日

### 住友商事株式会社

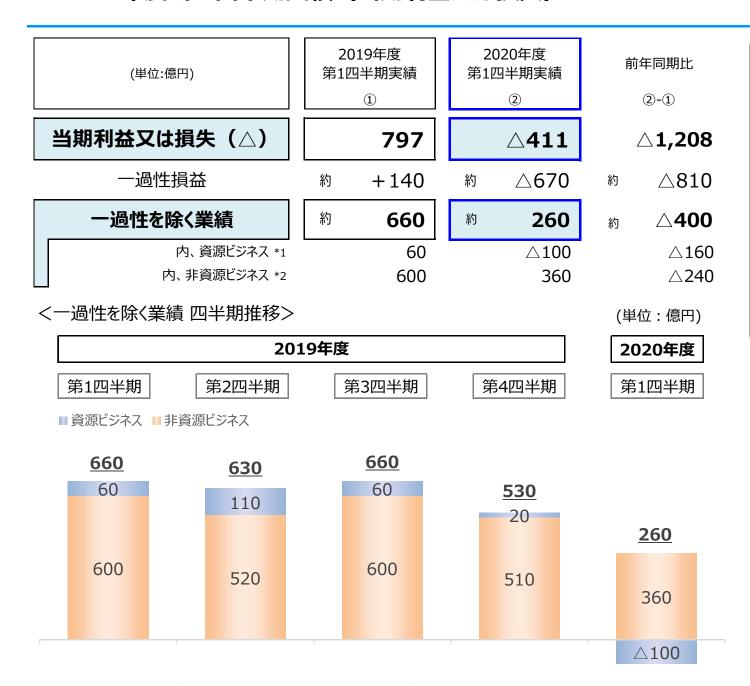
#### 将来情報に関するご注意

本資料には、当社の中期経営計画等についての様々な経営目標及びその他の将来予測が開示されています。これらは、当社の経営陣が中期経営計画を成功裡に実践することにより達成することを目指していく目標であります。これらの経営目標及びその他の将来予測は、将来の事象についての現時点における仮定及び予想並びに当社が現時点で入手している情報に基づいているため、今後の四囲の状況等により変化を余儀なくされるものであり、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。したがって、これらの情報に全面的に依拠されることは控えられ、また、当社がこれらの情報を逐次改訂する義務を負うものではないことをご認識いただくようお願い申し上げます。

### 1. 2020年度 第1四半期実績(当期利益又は損失)



Enriching lives and the world



<sup>\*1</sup> 一過性を除く業績の内、資源ビジネスは「資源第一本部」「資源第二本部」「エネルギー本部」の合計です。

#### 〈 2020年度 第1四半期実績(前年同期比) 〉

- 当期 大口の一過性損失あり
- ✓ マダガスカルニッケル事業 減損損失 (△550億円)

#### 【一過性を除く業績概要】

- 資源ビジネス
  - ✓ 鉱山操業停止の影響
  - ✓ 豪州石炭事業 減益

#### ■ 非資源ビジネス

- ✓ 北米鋼管事業 及び 自動車関連事業 減益
- ✓ 電力EPC案件 ピークアウト
- ✓ メディア・デジタル 主要事業会社 堅調
- ✓ 発電事業 堅調

			2019年度	2020年度
	(参考) 🗄	と要指標	第1四半期	第1四半期
			実績	実績
為替	替〈YEN/U	JS\$>	109.90	107.63
金	LIBOR 6	SM(YEN)	0.00%	0.01%
利	LIBOR 6	SM(US\$)	2.50%	0.71%
銅>	<b>*</b>	(US\$/MT)	6,220	5,638
亜釒	沿	(US\$/MT)	2,762	1,992
ニック	rJV	(US\$/lb)	5.56	5.53
鉄釒	拡石※	(US\$/MT)	83	89
石	原料炭	(US\$/MT)	204	119
炭	一般炭	(US\$/MT)	80	55
原	Brent:	(US\$/bbl)	64	50
油	WTI	(US\$/bbl)	60	28

<sup>\* ※</sup>印の商品は1-3月、その他の商品は4-6月の価格を記載

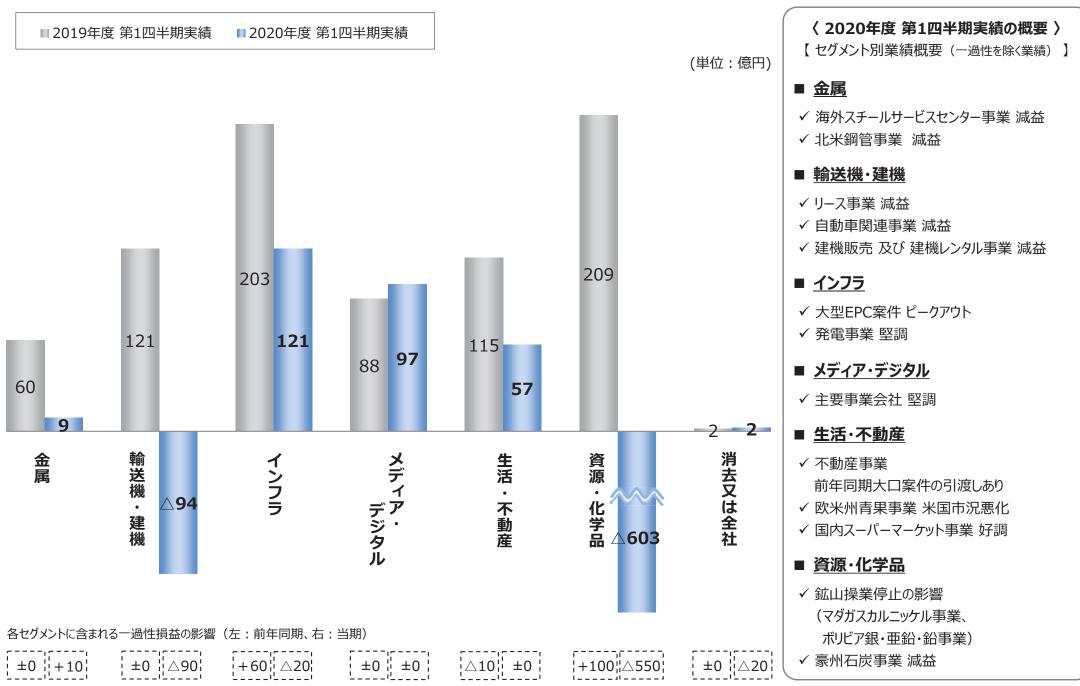
<sup>\*2</sup> 非資源ビジネスは全社計から資源ビジネスを差し引いて算出しております。

<sup>\*</sup> 原料炭…市場情報に基づく一般的な取引価格

### 2. 2020年度 第1四半期実績 (セグメント別 当期利益又は損失)



Enriching lives and the world



### 3. 2020年度 第1四半期実績(キャッシュ・フロー/財政状態)



Enriching lives and the world

#### ● キャッシュ・フロー実績

(単位:億円)	2	2019年度		2020年度
	Ŝ	第1四半期	اِ ا	第1四半期
営業活動		+489		+468
投資活動		△893		△532
フリーキャッシュ・フロー		△404		△64
				$\overline{}$
<キャッシュ・イン>				
基礎収益キャッシュ・フロー *1		+1,098		+ 578
(内、持分法投資先からの配当)		( +614)		( +463 )
減価償却費 及び 無形資産償却費		+384		+ 398
資産入替による回収	約	+300	約	+ 100
その他の資金移動	約	△1,000	約	△700
<キャッシュ・アウト>				
投融資実行	約	△1,200	約	△500

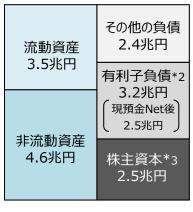
#### 〈2020年度 第1四半期実績の概要 〉

- 基礎収益キャッシュ・フロー
- ✓ コアビジネスがキャッシュを創出
- その他の資金移動
- ✓ 運転資金の増加 等
- 投融資実行
- ✓ フィリピン鉄道運営・保守事業 参画
- ✓ ブラジルFPSO\*保有・傭船事業 参画 等
  - \*Floating Production, Storage and Offloading (浮体式石油・ガス生産貯蔵積出設備)
- \*1 基礎収益キャッシュ・フロー = 基礎収益 持分法による投資損益 + 持分法投資先からの配当 基礎収益 = (売上総利益 + 販売費及び一般管理費(除く貸倒引当金繰入額) + 利息収支 + 受取配当金)×(1-税率)+持分法による投資損益

#### ● 財政状態

### 2019年度末

総資産 8.1兆円



D/E Ratio(Net): 1.0



#### 〈2020年度 第1四半期実績の概要 〉

- ■<u>総資産 △1,761億円</u> (81,286億円→79,525億円)
- ✓ 営業資産の減少
- ✓ 減損損失による持分法投資の減少 等
- 株主資本 △567億円(25,441億円→24,874億円)
- ✓ 当期損失の計上
- ✓ 配当金の支払 等

	2019年度末	2020年度 第1四半期末
為替〈YEN/US\$〉	108.83	107.74

- \*2 有利子負債…社債及び借入金(流動・非流動)の合計(リース負債は含まず)
- \*3 株主資本…資本の内、「親会社の所有者に帰属する持分合計 |

Enriching lives and the world

### ■ 次期中期経営計画を見据えた構造改革

### 不採算事業の整理

- ✓ 既存事業のバリューアップ遅れに加え、新型コロナウイルスの影響もあり、 複数の案件で一過性損失が発生する懸念あり。
- ✓ 早期の成長軌道への回帰に向け、懸念・不採算事業に道筋をつけることで 経営資源を成長事業へシフト。

### 稼ぐ力の徹底強化

- ✓ 全社ポートフォリオを再構築。
- ✓ 当社の強みを活かし、より成長が期待できる事業分野へ経営資源の配分を加速。

### サステナビリティ経営の高度化

- ✓ 重要社会課題 並びに 長期目標を設定し、社会課題の解決に向けた取り組みを推進。
- ✓ 社会課題の長期的な動向を踏まえた経営を通じ企業価値向上を図る。

### 5. 2020年度 通期予想



Enriching lives and the world

### ■ 事業環境

- ✓ ビジネス毎に新型コロナウイルスの影響度合い、業績回復シナリオは異なるものの、全体としては年間を通じて厳しい事業環境が継続する見通し。
- ✓ 引き続き先行きは不透明なものの、第1四半期実績も踏まえた通期予想は以下の通り。



#### ■ 一過性を除く業績

- ✓ 金属、輸送機・建機、資源・化学品の3セグメントは 新型コロナウイルスの影響が大きく、今期中の収益回復は 困難な見込。
- ✓ インフラ、メディア・デジタル、生活・不動産の3セグメントは 前期の反動減あるものの、概ね底堅く推移。

#### ■ 一過性損益

- ✓ 第1四半期に計上した一過性損失に加え、 新型コロナウイルスの影響により複数案件で 減損損失が発生する懸念あり。
- ✓ 早期の成長軌道への回帰に向け、不採算案件の整理 など構造改革を推進することで一過性損失が発生する 可能性あり。

### 6. 2020年度 通期予想 (一過性損益)



Enriching lives and the world

- ✓ 第1四半期に計上済のマダガスカルニッケル事業における減損損失に加え、新型コロナウイルスの影響を 主とし、第2四半期以降も当該案件での追加減損懸念も含め、複数案件で一過性損失が発生する懸念あり。
- ✓ 加えて、早期の成長軌道への回帰に向け不採算案件の整理など構造改革を推進することで 一過性損失が発生する可能性あり。

(単位:億円)

部門	案件名	2020年度			
EN 1	<b>余</b> 什石	第1四半期 実績	第2四半期以降に想定されるリスク		
金属	インド特殊鋼事業	-	インド経済の回復動向次第では減損懸念あり		
₩ 14	   鋼管事業 	-	将来の需要回復見通し次第では減損懸念あり		
┪がは機・建機	インドネシア自動車金融事業	△ 60	クレジットコストの更なる増加懸念 及び 減損懸念あり		
生活·不動産	欧米州青果事業(Fyffes)	-	業績低迷によるのれん等の減損懸念あり (20/6末時点のれん残高:約350億円)		
資源·化学品	マダガスカルニッケル事業	△ 550	操業停止期間の長期化等、 事業環境の更なる悪化による追加減損懸念あり (20/6末時点エクスポージャー:約1,000億円)		
その他		△ 60	上記案件以外の減損懸念 及び 不採算案件整理に伴う損失発生可能性あり		
合計		△ 670	通期で△2,500億円程度の一過性損失発生懸念あり		

### 7. 2020年度 通期予想 (セグメント別 一過性を除く業績)



Enriching lives and the world

	2010年度		2020	)年度	7			
(単位:億円)	2019年度 実績 ①	前期比増減 ②-①	通期予想 ②	第1四半期 実績	<第2四半期以降の見立て>			
金属	170	△230	△60	0	・鋼材ビジネス:自動車関連は第2四半期以降回復も家電関連は低迷 ・鋼管ビジネス:需要低迷により北米を中心に厳しい状況が継続			
輸送機•建機	390	△350	40	△10	・インドネシア自動車金融事業:新規成約減少・ 今期中は新型コロナウイルスの影響が継続 ・自動車製造事業:全ての生産拠点で操業を再開しているものの、 本格稼働までは時間を要する見込			
インフラ	630	△280	350	140	・発電事業:堅調に推移 ・電力EPC案件:大型案件ピークアウト			
メディア・デジタル	380	△30	350	100	・主要事業会社:堅調に推移			
生活•不動産	490	△140	350	60	・不動産事業:第2四半期以降に物件引き渡しを見込む			
資源·化学品	450	△480	△30	△50	・マダガスカルニッケル事業:2020年度第4四半期操業再開の見込 ・南アフリカ鉄鉱石事業:堅調に推移 ・化学品・エレクトロニクス:堅調に推移			
消去又は全社	△30	+30	-	20	(参考) 主要指標 道期予想 第1四半期 実績			
合計	2,480	△1,480	1,000	260	為替〈YEN/US\$〉 110.00 107.63 * 為替のセンシティビティは軽微 金 LIBOR 6M(YEN) 0.05% 0.00% 利 LIBOR 6M(US\$) 0.50% 0.71%			

© 2020 Sumitomo Corporation

### 8. 中期経営計画2020 キャッシュ・フロー / 配当 計画



Enriching lives and the world

		(参考)					
 	2018年度 実績	2019年度 実績	2020	)年度	中計2020 3年合計 (18/4~21/3)	中計2020 当初計画 (18/4~21/3)	
(十四、四八)			通期計画	第1四半期 実績			
基礎収益キャッシュ・フロー	+2,900	+2,390	+2,500	+2,500	+578 +2,500 +273	. 10 000	. 12 000
減価償却費 及び 無形資産償却費(*)	+1,118	+1,153				+273	+10,000
資産入替による回収	+2,400	+1,200	+2,200	+100	+4,000	+6,000	
その他の資金移動	△1,200	△500	1 2,200	△700		1 0,000	
投融資実行	△3,000	△3,500	△2,800	△500	△9,200	△13,000	
フリーキャッシュ・フロー	+2,176	+732	+1,900	△189	+4,800	+5,000	
配当	△887	△1,037	△875	△437	△2,800	△3,000	
配当後フリーキャッシュ・フロー	+1,289	△305	+1,025	△626	+2,000	+2,000	

#### 【キャッシュ・フロー計画】

### <u>財務健全性向上のため、</u> 有利子負債削減方針を継続。

- ⇒以下取り組みによりキャッシュ・フローの 悪化を防ぐ。
- ✓ 徹底的なコスト削減
- ✓ 構造改革推進による資産入替促進
- ✓ Working Capitalの改善
- ✓ 投融資の厳選

### 【配当計画】

### 期初公表予想70円/株から変更 無し。 (中間35円/株、期末35円/株)

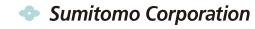
- ⇒以下を踏まえ、期初より配当計画を 変更しない。
- ✓ 長期にわたり安定的に配当を行う という配当に関する基本方針
- ✓ 一過性損失の大部分がキャッシュの 流出を伴わない損失であること
- ✓ リスクアセットとコア・リスクバッファーの バランスを引き続き維持できる見込 であること

Enriching lives and the world

# **Appendix**

9.要約四半期連結包括利益計算書の概要	(P.11)
10.要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要	(P.12)
11.要約四半期連結財政状態計算書の概要	(P.13)
12.セグメント別 業績概要	(P.14-23)
13.セグメント情報(補足:生活・不動産、資源・化学品事業部門)	(P.24-25)
14.セグメント別 当期利益/一過性損益 四半期推移	(P.26-27)
15.業績推移	(P.28-29)

### 9. 要約四半期連結包括利益計算書の概要



Enriching lives and the world

(単位:億円)	2019年度 第1四半期実績 (2019/4-6)	2020年度 第1四半期実績 (2020/4-6)	前年同期比		2020年度第1四半期実績の概要		
収益	13,131	10,357	△ 2,774	△21%	│ │ 《売上総利益》		
売上総利益	2,281	1,733	△ 548	△24%	・資源価格下落の影響		
販売費及び一般管理費	△1,591	<b>△1,597</b>	△ 6	△0%	・電力EPC案件 ピークアウト		
(内、貸倒引当金繰入額)	(△8)	(△15)	(△7)	(△93%)	・自動車関連事業 減益 ・北米鋼管事業 減益		
利息収支	△47	△21	+26	55%			
受取配当金	51	36	△ 16	△30%	   «持分法による投資損益»		
持分法による投資損益	279	△489	△ 769	-	・マダガスカルニッケル事業 減損損失 ・インドネシア自動車金融事業 クレジットコストの増加 ・自動車関連事業 減益		
有価証券損益	58	△0	△ 58	-			
固定資産損益	31	2	△ 29	△93%	・資源価格下落の影響		
その他の損益	69	35	△ 34	△49%			
税引前四半期利益又は損失(△)	1,132	△302	△ 1,433	-			
法人所得税費用	△299	△68	+231	77%			
四半期利益又は損失(△)	832	△370	△ 1,202	-			
四半期利益又は損失(△)の帰属:							
親会社の所有者	797	<b>△411</b>	<b>△ 1,208</b>	-			
非支配持分	35	41	+6	17%			
基礎収益	764	△375	△ 1,139	_	2010/688 2020/688 180-2-77		
四半期包括利益 (親会社の所有者に帰属)	50	△129	△ 179	-	2019/6期   2020/6期   増減   増減率     期中平均rate (円/US\$)   109.90   107.63   △2.27   △2.1%		

### 10. 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要



Enriching lives and the world

(単位:億円)	2019年度 第1四半期実績 (2019/4-6)	2020年度 第1四半期実績 (2020/4-6)	前年同期比	2020年度第1四半期実績の概要
営業活動によるキャッシュ・フロー	489	468	△ 22	《営業活動によるキャッシュ・フロー》
基礎収益キャッシュ・フロー*	1,098	578	△ 521	・J:COM、SMFL、ショップチャンネル等 持分法投資先からの配当・運転資金の増加
(基礎収益)	(764)	(△375)	(△1,139)	
(持分法による投資損益)	(△279)	(489)	(+769)	<ul><li></li></ul>
(持分法投資先からの配当)	(614)	(463)	(△150)	事業会社設備投資 等
減価償却費及び無形資産償却費*	384	398	+14	 ・投資・有価証券等の収支
その他(営業資産・負債の増減等)	△993	△508	+485	フィリピン 鉄道運営・保守事業 参画
投資活動によるキャッシュ・フロー	△893	△532	+362	ブラジルFPSO保有・傭船事業 参画 等
有形固定資産等の収支	△308	△179	+129	・貸付金の収支
投資・有価証券等の収支	△565	△225	+339	グループファイナンスの貸付・回収等
貸付金の収支	△20	<b>△127</b>	△ 107	«財務活動によるキャッシュ・フロー»
フリーキャッシュ・フロー	△404	△64	+340	・借入金の返済
財務活動によるキャッシュ・フロー	644	△1,012	△ 1,656	·配当

#### \* セグメント情報

(単位:億円)
金属
輸送機・建機
インフラ
メディア・デジタル
生活•不動産
資源·化学品
計
消去又は全社
連結

基礎収益キャッシュ・フロー						
2019年度第1四半期	2020年度第1四半期	前年同期比				
56	24	△ 32				
179	87	△ 92				
142	51	△ 91				
287	282	△ 5				
113	72	△ 41				
206	24	△ 181				
984	540	△ 443				
114	37	△ 77				
1,098	578	△ 521				

減価償却費及び無形資産償却費						
2019年度第1四半期	2020年度第1四半期	前年同期比				
28	25	△ 2				
94	109	+ 16				
22	21	△ 1				
43	48	+ 5				
92	94	+ 2				
56	51	△ 5				
335	349	+ 14				
50	49	△ 1				
384	398	+ 14				

### 11. 要約四半期連結財政状態計算書の概要



Enriching lives and the world

(単位:億円)	2019年度末 実績 (2020/3末)	2020年度 第1四半期末実績 (2020/6末)	前期未比	2020年度第1四半期末実績の概要			
資産	81,286	79,525	△ 1,761				
流動資産	35,364	34,058	△ 1,306	《営業債権及びその他の債権(流動/非流動)》 ・減少:北米鋼管事業取引減少 等			
現金及び現金同等物	7,104	6,045	△ 1,058				
営業債権及びその他の債権	12,311	10,991	△ 1,320				
棚卸資産	9,300	9,480	+180	《持分法で会計処理される	ている投資»		
その他の流動資産	4,084	4,799	+715	•減少:マダガスカルニッケル	事業 減損損	失 等	
非流動資産	45,922	45,467	△ 455				
持分法で会計処理されている投資	20,253	19,884	△ 368	«株主資本»			
営業債権及びその他の債権	3,319	2,855	△ 463	・在外堂業活動体の換算差額 +116 (△317→△200)		200)	
有形固定資産 / 無形資産	13,429	13,510	+80			\200)	
負債(流動/非流動)	54,360	53,159	△ 1,202				
営業債務及びその他の債務	11,363	10,869	△ 493				
リース負債	4,920	5,002	+82				
未払費用	953	657	△ 296				
有利子負債 (社債及び借入金)	31,894	31,478	△ 416				
※ 上段はグロス、下段は現預金ネット後	(24,688)	(25,283)	(+595)				
資本	26,926	26,366	△ 560				
株主資本	25,441	24,874	△ 567				
株主資本比率	31.3%	31.3%	±0.0%	為替レート(US\$)	2020/3末	2020/6末	増減
DER (Net)	1.0	1.0	±0.0pt	期末	108.83	107.74	△ 1.09

### 12. セグメント別業績概要(1) (金属事業部門)



Enriching lives and the world

#### 【主要指標】

(単位:億円)	FY19 1Q実績	FY20 1Q実績
当期利益又は損失(△) (親会社の所有者に帰属)	60	9
一過性損益	0	約+10
一過性を除く業績	約60	約0
売上総利益	296	196
販売費及び一般管理費	△ 234	△ 204
持分法による投資損益	16	21
総資産	10,930	10,185
	(20/3末)	
基礎収益CF	56	24
減価償却	28	25

#### <前年同期比(△51億円)の主な増減要因>

- ・**鋼材** 海外スチールサービスセンター事業 減益
- ・非鉄 マレーシアアルミニウム製錬事業 利益率改善
- ・鋼管 北米鋼管事業 減益
- ・当期 資産入替に伴う一過性利益等(約+10億円)

14

### < FY20通期見通し (一過性を除く業績) > (第2四半期以降の見立て)

- ・鋼材ビジネス 自動車関連は第2四半期以降回復も家電関連は低迷
- ・鋼管ビジネス 需要低迷により北米を中心に厳しい状況が継続

#### 主な投融資・入替実績

【投融資(1Q実績:10億円)】

#### その他トピックス

・ノルウェーにおける石油ガス関連企業EXEBENUS AS社への出資(2020年5月)

2020年4月1日付で、輸送機・建機事業部門傘下にあった自動車部品製造・販売事業の一部を金属事業部門傘下の組織に移管しました。 これに伴い、FY19 1Q実績は組替えて表示しております。

FY20

通期見通し

△60

#### 【連結業績に与える影響が大きい会社】

	持分損益(単位:億円)			
会社名	FY19 1Q実績	FY20 1Q実績	FY20 通期見通し	
住友商事グローバルメタルズグループ	17	9	35	
マレーシアアルミニウム製錬事業会社	3	4	_*	
ERYNGIUM	2	2	△ 2	
EDGEN GROUP	△ 1	△ 11	△ 21	

持分比率 (2020年6月		事業内容	
100.00	%	鋼材・非鉄金属製品の国内外取引及びその関連事業	
20.00	%	マレーシアにおけるアルミニウム製錬事業	
100.00	%	油井機器用金属部品の加工・販売を行うHOWCO groupの持株会社	
100.00	%	Iネルギー産業向け鋼管・鋼材のグローバルディストリビューター	

FY20通期見通しは2Q以降の一過性損益を含んでおりません。

© 2020 Sumitomo Corporation

<sup>\*</sup> 事業パートナーとの関係上、今後の公表を差し控えます。

### 12. セグメント別業績概要(2) (輸送機・建機事業部門)



Enriching lives and the world

#### 【主要指標】

(単位:億円)	FY19 1Q実績	FY20 1Q実績	FY20 通期見通し
当期利益又は損失(△) (親会社の所有者に帰属)	121	△ 94	
一過性損益	0	約△90	
一過性を除く業績	約120	約△10	40
売上総利益	393	274	
販売費及び一般管理費	△ 328	△ 316	
持分法による投資損益	97	△ 48	
			· 
総資産	16,890	16,626	
	(20/3末)		
基礎収益CF	179	87	
	04	100	

#### <前年同期比(△215億円)の主な増減要因>

- ・リース事業 減益
- ·自動車関連事業 減益
- ・建機販売及び建機レンタル事業 減益
- ・当期 インドネシア自動車金融事業

現地政府の新型コロナウイルス緊急対策導入に伴う返済猶予等に関する引当金増(約△60億円)

・当期 その他一過性損失等(約△30億円)

### < FY20通期見通し(一過性を除く業績)> (第2四半期以降の見立て)

・インドネシア自動車金融事業

新規成約減少・今期中は新型コロナウイルスの影響が継続

・自動車製造事業

全ての生産拠点で操業を再開しているものの、本格稼働までは時間を要する見込

主な投融資・入替実績

【投融資(1Q実績:80億円)】

|減価償却 94 109 |

2020年4月1日付で、輸送機・建機事業部門傘下にあった自動車部品製造・販売事業の一部を金属事業部門、

リチウムイオン電池の二次利用事業をインフラ事業部門傘下の組織に移管しました。これに伴い、FY19 1Q実績は組替えて表示しております。

#### 【連結業績に与える影響が大きい会社】

	持分損益(単位:億円)			
会社名	FY19 1Q実績	FY20 1Q実績	FY20 通期見通し	
三井住友ファイナンス&リース*1	81	23	184 <sup>*3</sup>	
住友三井オートサービス	9	6	12	
住友商事パワー&モビリティ*1,2	3	3	11	
TBC	△ 7	△ 13	-	
インドネシア自動車金融事業会社	13	△ 52	△ 90	

持分比率 (2020年6月		事業内容
50.00	%	総合リ-ス
34.00	%	自動車及び自動車関連商品のリース事業
100.00	%	自動車・建機・機械・電機等の貿易取引
50.00	%	米国におけるタイヤ卸・小売事業
-		インドネシアにおける自動車(二輪・四輪)ファイナンス事業

FY20通期見通しは2Q以降の一過性損益を含んでおりません。

- \*1 他セグメントの持分を含めた全社合計の比率及び金額を表示しております。各社の当セグメント持分比率/全社持分割合は以下の通りです。 三井住友ファイナンス&リース:45/50、住友商事パワー&モビリティ:60/100
- \*2 同社は2019年10月1日付で住商機電貿易から住友商事パワー&モビリティへ社名変更致しました。
- \*3 2020年5月14日付 同社公表値に基づく持分損益の通期見通し(IFRSベース)を記載しております。15

### 12. セグメント別業績概要 (3) (インフラ事業部門)



Enriching lives and the world

#### 【主要指標】

【工女相伝】			
(単位:億円)	FY19 1Q実績	FY20 1Q実績	FY20 通期見通し
当期利益又は損失(△) (親会社の所有者に帰属)	203	121	
一過性損益	約+60	約△20	
一過性を除く業績	約150	約140	350
			,
売上総利益	316	186	
販売費及び一般管理費	△ 144	△ 137	
持分法による投資損益	28	55	
総資産	8,948	9,002	
	(20/3末)		
基礎収益CF	142	51	
減価償却	22	21	

#### <前年同期比(△82億円)の主な増減要因>

- ・発電事業 堅調
- ・発電所建設大型EPC\*案件 ピークアウト
- ・当期 電力分野における一過性損失(約△20億円)
- ・前年同期 電力分野における一過性利益等(約+60億円)

\*EPC: Engineering, Procurement & Construction

### < FY20通期見通し(一過性を除く業績)> (第2四半期以降の見立て)

・発電事業 堅調に推移

・電力EPC案件大型案件ピークアウト

#### 主な投融資・入替実績

【投融資(1Q実績:160億円)】

16

・フィリピンにおける都市旅客鉄道の運営・保守事業への出資参画 (2020年5月)

#### その他トピックス

・サブサハラにおけるミニグリット事業への参画 (2020年4月)

2020年4月1日付で、輸送機・建機事業部門傘下にあったリチウムイオン電池の二次利用事業をインフラ事業部門傘下の組織に移管しました。 これに伴い、FY19 1Q実績は組替えて表示しております。

#### 【連結業績に与える影響が大きい会社】

	持分損益(単位:億円)			
会社名	FY19 1Q実績	FY20 1Q実績	FY20 通期見通し	
海外IPP/IWPP事業* <sup>1</sup>	66	122	372	
住商グローバル・ロジスティクス	6	4	17	

	持分比率 (2020年6月末)	事業内容	
2	-* <sup>2</sup> 海外における発電/発電造水事業		
7	100.00 %	総合物流サービス業	

FY20通期見通しは2Q以降の一過性損益を含んでおりません。

- \*1 海外IPP/IWPP事業全体における持分損益の合計。
- \*2 持分比率の異なる複数の事業会社であるため、記載しておりません。

© 2020 Sumitomo Corporation

### 12. セグメント別業績概要(4) (メディア・デジタル事業部門)



Enriching lives and the world

#### 【主要指標】

減価償却

【土安指倧】			
(単位:億円)	FY19 1Q実績	FY20 1Q実績	FY20 通期見通し
当期利益又は損失(△) (親会社の所有者に帰属)	88	97	
一過性損益	0	0	
一過性を除く業績	約90	約100	350
売上総利益	226	245	
販売費及び一般管理費	△ 186	△ 191	
持分法による投資損益	97	97	
			•
総資産	8,799	8,640	
	(20/3末)		
基礎収益CF	287	282	

#### <前年同期比(+10億円)の主な増減要因>

・主要事業会社 堅調

< FY20通期見通し (一過性を除く業績) > (第2四半期以降の見立て)

・主要事業会社堅調に推移

#### 主な投融資・入替実績

【投融資(1Q実績:70億円)】

・SCSK 設備投資(データセンター、ソフトウェア等)

#### その他トピックス

・テクノロジー企業へのベンチャー投資

#### 【連結業績に与える影響が大きい会社】

	持分損益(単位:億円)				
会社名	FY19 1Q実績	FY20 1Q実績	FY20 通期見通し		
ジュピターテレコム <sup>*1</sup>	70	75	282		
SCSK <sup>*1</sup>	28	41	141		
ジュピターショップチャンネル <sup>*1,*2</sup>	13	6	45		
ティーガイア	8	6	35		

43

持分比率 (2020年6月		事業内容
50.00	%	ケーフ゛ルテレヒ゛局及び番組供給会社の統括運営
50.64 <sup>*3</sup>	%	システム開発、ITインフラ構築、ITマネジメント、BPO、ITハード・ソフト販売
45.00	%	テレビ通販事業
41.89	%	移動体通信回線・端末の販売及びギフトカード事業

FY20通期見通しは2Q以降の一過性損益を含んでおりません。

- \*1 FY20より新連結会計システムを導入したことにより、親会社側の投資差額の計上方法に変更があり、FY19とFY20の持分損益の認識方法が異なるため、FY19実績につき、FY20における認識方法に基づく持分損益に置き換えております。
- \*2 他セグメントの持分を含めた全社合計の比率及び金額を表示しております。当セグメント持分比率/全社持分割合は30/45です。
- \*3 IFRS導入に伴い、2020年4月から出資比率を50.75%→50.64%に変更しております。

### 12. セグメント別業績概要(5) (生活・不動産事業部門)



Enriching lives and the world

#### 【主要指標】

(単位:億円)	FY19 1Q実績	FY20 1Q実績	FY20 通期見通し
当期利益又は損失(△) (親会社の所有者に帰属)	115	57	
一過性損益	約△10	0	
一過性を除く業績	約130	約60	350
売上総利益	548	523	
販売費及び一般管理費	△ 420	△ 450	
持分法による投資損益	18	17	
総資産	15,384	15,690	
	(20/3末)		
基礎収益CF	113	72	
減価償却	92	94	

#### <前年同期比(△58億円)の主な増減要因>

- ・不動産事業 前年同期大口案件の引渡しあり
- · 欧米州青果事業 米国市況悪化
- ・国内スーパーマーケット事業 好調
- ・前年同期 その他一過性損失あり(約△10億円)

#### <FY20通期見通し(一過性を除く業績)> (第2四半期以降の見立て)

・不動産事業 第2四半期以降に物件引き渡しを見込む

主な投融資・入替実績

【投融資(1Q実績:60億円)】

#### 【連結業績に与える影響が大きい会社】

	持分損益(単位:億円)			
会社名	FY19 1Q実績	FY20 1Q実績	FY20 通期見通し	
サミット	12	40	76	
住商フーズ	8	8	26	
住商ビルマネージメント	3	3	15	
住商セメント	3	2	12	
住商リアルティ・マネジメント	2	2	13	
SUMMIT FORESTS NEW ZEALAND	2	1	10	
米国住宅事業会社	1	0	C	
トモズ	0	0	15	
FYFFES*	8	△ 10	△ 32	

持分比率 (2020年6月末)			事業内容
	100.00	%	スーパ゜ーマーケット
	100.00	%	食品・食材の開発・輸入・国内販売、加工
	100.00	%	オフィスビル等の運営・管理・企画コンサルティング
	100.00	%	セメント・生コンクリート・コンクリート製品の販売
	100.00	%	不動産のアセット・マネジメント業務
	100.00	%	森林資産の保有、ファイナンス、原木伐採、販売、植育林
	100.00	%	賃貸住宅事業への投資及び宅地造成事業
	100.00	%	調剤併設型ドラッグストアチェーン
	100.00	%	欧州並びに米州での青果物生産及び卸売業

FY20通期見通しは2Q以降の一過性損益を含んでおりません。

<sup>\*</sup> 当期より連結対象期間を変更しており、FY20 1Q実績は2020年1月~2020年3月の持分損益を、FY20通期見通しは2020年1月~2021年3月(15ヶ月)の持分損益予想を記載しております。

### 12. セグメント別業績概要(6) (資源・化学品事業部門)

通期見通し

△30



Enriching lives and the world

#### 【主要指標】

(単位:億円)	FY19 1Q実績	FY20 1Q実績	
当期利益又は損失(△) (親会社の所有者に帰属)	209	△ 603	
一過性損益	約+100	約△550	
一過性を除く業績	約110	約△50	
売上総利益	467	294	
販売費及び一般管理費	△ 243	△ 274	
持分法による投資損益	15	△ 632	
総資産	15,958	15,501	
	(20/3末)		
基礎収益CF	206	24	
減価償却	56	51	

FY20 **<前年同期比(△812億円)の主な増減要因>** 

・資源・エネルギー

豪州石炭事業 市況価格下落 ボリビア銀・亜鉛・鉛事業 市況価格下落 及び 販売数量減 マダガスカルニッケル事業 操業停止による販売数量減 トレードビジネス 低調

・**化学品・エレクトロニクス** 堅調

- ・当期 マダガスカルニッケル事業 減損損失(約△550億円)
- ・前年同期 資源・エネルギー分野における一過性利益(約+100億円)

< FY20通期見通し (一過性を除く業績) > (第2四半期以降の見立て)

- ・マダガスカルニッケル事業 2020年度第4四半期操業再開の見込
- ・**南アフリカ鉄鉱石事業** 堅調に推移
- ・化学品・エレクトロニクス堅調に推移

#### 主な投融資・入替実績

【投融資(1Q実績:170億円)】

- ・ブラジル沖油ガス田向けFPSO\*保有・傭船事業への参画(2020年5月)
- \*Floating Production, Storage and Offloading (浮体式石油・ガス生産貯蔵積出設備)

#### その他トピックス

・ORESTEEL傘下の鉱山会社の持分増(2020年5月)

19 © 2020 Sumitomo Corporation

### 12. セグメント別業績概要(6) (資源・化学品事業部門)



Enriching lives and the world

#### 【連結業績に与える影響が大きい会社】

	持分	損益(単位:億	[円]
会社名	FY19 1Q実績	FY20 1Q実績	FY20 通期見通し
ブラジル鉄鉱石事業会社*1	11	16	49
SUMMIT RURAL WA	10	8	9
SUMI AGRO EUROPE	12	8	19
住友商事ケミカル	7	6	24
北海油田事業権益保有会社	6	6	0
豪州石炭事業会社	49	4	4
エルエヌジージャパン	5	3	21
スミトロニクスグループ	11	3	23
SC MINERALS AMERICA	7	2	28
ORESTEEL INVESTMENTS*3	-	-	150
SMM CERRO VERDE NETHERLANDS	9	△ 3	2
チリ銅・モリブデン鉱山事業会社	1	△ 7	0
米国タイトオイル・シェールガス事業会社	2	△ 5	△ 24
PACIFIC SUMMIT ENERGY	27	△ 17	38
ボリビア銀・亜鉛・鉛事業会社	11	△ 20	△ 39
マダガスカルニッケル事業会社	△ 42	△ 661	△937 <sup>*4</sup>

持分比率 (2020年6月末)		事業内容
30.00	%	ブラジルにおける鉄鉱石事業
100.00	%	西豪州における肥料輸入販売
100.00	%	欧州における農業資材販売会社への出資
100.00	%	合成樹脂・化成品の国内・貿易取引
_*2		英領・川ウェー領北海における石油・天然ガスの開発・生産・販売
_*2		豪州における石炭事業への投資
50.00	%	LNG(液化天然ガス)事業及び関連投融資
_*2		EMS事業(電子機器の受託生産サービ、ス)及び電子材料の貿易取引
100.00	%	米国・モレンシー銅鉱山、チリ・ラカンデラリア銅鉱山への出資
49.00	%	南アフリカにおける鉄鋼原料資源会社への投資
20.00	%	^° ル-銅鉱山への投資
13.50	%	利Sierra Gorda銅鉱山における鉱山プロジェクト運営会社への投融資
100.00	%	米国における石油・天然ガスの探鉱・開発・生産
100.00	%	米国における天然ガス・電力のトレーディング及びマーケティング、並びにLNG輸出事業
100.00	%	ボリビア銀・亜鉛・鉛鉱山操業会社及び精鉱販売会社への投資
47.67	%	マタ゛カ゛スカルAmbatovyニッケル鉱山開発プロジェクトへの投資

FY20通期見通しは2Q以降の一過性損益を含んでおりません。

<sup>\*1</sup> 事業パートナーとの関係上、2019年度決算発表時に公表を控えましたFY19実績は44億円です。

<sup>\*2</sup> 持分比率の異なる複数の事業会社であるため、記載しておりません。

<sup>\*3</sup> 持分損益を半期毎に認識しているため、1Qは持分損益を取り込んでおりません。

<sup>\*4 2020</sup>年9月より出資比率変更 (47.67%→54.17%) 前提での見通しです。

### 12. セグメント別業績概要(6) (資源・化学品事業部門)



Enriching lives and the world

### 【個別事業の状況 アンバトビー ニッケルプロジェクト】

### 【2020年度第1四半期実績:661億円の赤字】

▶ 減損損失の計上 約△550億円

<前提条件>

ニッケル中長期価格: \$7.2/lb

ニッケル生産量:5万トン弱/年



### 【2020年度通期見通し:937億円の赤字】

- ➤ 新型コロナウイルスの影響により足元操業停止が継続しており、2020年度第4四半期より 操業再開、段階的なランプアップを想定。
- シェリット社の債務整理に伴い、当社出資持分引き上げ (47.67% → 54.17%) を予定。

### 【2020年度の取り組み】

- ▶ 操業停止期間中は可能な範囲でメンテナンス作業を実施。
- 2021年度以降の高位安定操業を目指し再開に向けた準備を進める。

Enriching lives and the world

## 資源権益持分生産量及びセンシティビティ

		FY19		FY	センシティビティ (年間ベース、	
		1 Q	通期	1Q	通期見通し	価格ヘッジ考慮前、 8月時点)
原料炭	持分出荷量(百万MT)	0.4	1.5	0.4	1.2	1.0億円
<i>版</i> 村汉	価格(US\$/MT)	204	166	119	124	(US\$1/MT)
一般炭	持分出荷量(百万MT)	1.2	5.9	1.4	6.3	3.7億円
NAIX!X	価格(US\$/MT)	80	71	55	60	(US\$1/MT)
鉄鉱石*	持分出荷量(百万MT)	0.5	5.6	0.6	5.8	4.7億円
<b></b>	価格(US\$/MT)	83	93	89	89	(US\$1/MT)
マンガン鉱石*	持分出荷量(百万MT)	1	0.6	-	0.6	0.6億円
マンガン型が口	価格〔US\$/MT〕	286	246	194	217	(US\$1/MT)
銅	持分生産量〔万MT〕	1.4	5.8	1.4	5.8	4.5億円
<b>型</b> 型	価格〔US\$/MT〕	6,220	6,005	5,638	5,611	(US\$100/MT)

<sup>\*</sup> ORESTEEL INVESTMENTSの鉄鉱石、マンガンの持分出荷量は、2Q、4Qのみに含まれております。

Enriching lives and the world

## 資源権益持分生産量及びセンシティビティ

		FY19		FY20		センシティビティ (年間ベース、
		1Q	通期	1Q	通期見通し	価格ヘッジ考慮前、 8月時点)
銀	持分生産量〔百万toz〕	3.5	9.2	0.9	8.2	5億円
班X	価格(US\$/toz)	14.9	16.5	16.5	16.9	(US\$1/toz)
亜鉛	持分生産量〔千MT〕	55	196	21	152	10億円
<u> </u>	価格(US\$/MT)	2,762	2,406	1,992	1,960	(US\$100/MT)
鉛	持分生産量〔千MT〕	17	47	4	35	2億円 (US\$100/MT)
<b>元</b> 口	価格(US\$/MT)	1,884	1,951	1,690	1,735	
ニッケル*	持分生産量〔千MT〕	4.1	17.1	0	1.9	4億円
_9970	価格〔US\$/lb〕	5.56	6.35	5.53	6.15	(US\$1/lb)
原油・ガス	持分生産量〔百万boe〕	0.6	2.1	0.5	2.2	0.4億円
(北海権益)	価格(US\$/bbl,北海Brent)	64	64	50	40	(US\$1/bbl)
LNG	持分生産量〔万t〕	8	33	8	36	-

<sup>\*</sup> マダガスカルニッケル事業は2020年度4Qに操業再開を想定しており、通期価格見通し及びセンシティビティは当該期間におけるものです。

### 13. セグメント情報 (補足:生活・不動産事業部門)

Enriching lives and the world

(単位:億円)

			<u>(単位:億円)</u>
	2019年度 第1四半期累計	2020年度 第1四半期累計	前年同期比
生活·不動産事業部門			
売上総利益	548	523	△ 25
ライフスタイル・リテイル事業本部	297	359	+62
食料事業本部	103	74	△ 29
生活資材·不動産本部	150	91	△ 59
持分法による投資損益	18	17	△ <b>1</b>
ライフスタイル・リテイル事業本部	4	2	△ 2
食料事業本部	8	5	△ 3
生活資材·不動産本部	6	9	+4
四半期利益又は損失(△) (親会社の所有者に帰属)	115	57	△ 58
ライフスタイル・リテイル事業本部	11	32	+21
食料事業本部	△ 0	△ 6	△ 6
生活資材·不動産本部	104	31	△ 74
資産合計	2020年3月末 15,384	2020年6月末 15,690	+306
ライフスタイル・リテイル事業本部	3,788	3,751	△ 37
食料事業本部	3,318	3,332	+14
生活資材·不動産本部	8,282	8,613	+330



Enriching lives and the world

(単位:億円)

		. <u> </u>	(十四・四コ)
	2019年度 第1四半期累計	2020年度 第1四半期累計	前年同期比
資源•化学品事業部門			
売上総利益	467	294	<b>△ 174</b>
資源・エネルギー <sup>*1</sup>	256	99	△ 158
化学品・エレクトロニクス <sup>*2</sup>	211	195	△ 16
持分法による投資損益	15	△ 632	△ 646
資源・エネルギー <sup>*1</sup>	7	△ 639	△ 646
化学品・エレクトロニクス <sup>*2</sup>	8	7	△ 1
四半期利益又は損失(△) (親会社の所有者に帰属)	209	△ 603	△ 812
資源・エネルギー <sup>*1</sup>	160	△ 649	△ 810
化学品・エレクトロニクス <sup>*2</sup>	47	44	△ 3
資産合計	2020年3月末 15,958	2020年6月末 15,501	△ 458
資源・エネルギー <sup>*1</sup>	11,148	10,610	△ 538
化学品・エレクトロニクス <sup>*2</sup>	4,800	4,881	+81

<sup>\*1</sup> 資源・エネルギーは「資源第一本部」 「資源第二本部」 「エネルギー本部」の合計です。 \*2 化学品・エレクトロニクスは「基礎化学品・エレクトロニクス本部」 「ライフサイエンス本部」の合計です。

### 14. セグメント別 当期利益/一過性損益 四半期推移(2020年度)



Enriching lives and the world

#### 【当期利益又は損失(△)】

(単位:億円)					
(单位:思门)	1Q	2Q	3Q	4Q	累計
金属	9				9
輸送機•建機	△ 94				△ 94
インフラ	121				121
メディア・デジタル	97				97
生活·不動産	57				57
資源·化学品	△ 603				△ 603
合計	<b>△ 413</b>				△ 413
消去又は全社	2				2
連結	<b>△ 411</b>				<b>△ 411</b>

#### 【一過性損益】

(単位:億円)	2020年度実績								
(单位:徳门)	1Q	2Q	3Q	4Q	累計				
金属	10				10				
輸送機・建機	△ 90				△ 90				
インフラ	△ 20				△ 20				
メディア・デジタル	0				0				
生活·不動産	0				0				
資源·化学品	△ 550				△ 550				
合計	△ 650				△ 650				
消去又は全社	△ 20				△ 20				
連結	△ 670				△ 670				

<sup>※</sup>一過性損益は、一億の位を四捨五入して表示しております。

【一過性損益 (1Q実績) の主な内容】

金属・資産入替に伴う一過性利益等(約+10)

輸送機・建機・インドネシア自動車金融事業

現地政府の新型コロナウィルス緊急対策導入に伴う返済猶予等に関する

引当金増(約△60)

・その他一過性損失等 (約△30)

インフラ ・電力分野における一過性損失(約△20)

資源・化学品 ・マダガスカルニッケル事業 減損損失 (約△550)

消去又は全社 ・その他一過性損失(約△20)

### 14. セグメント別 当期利益/一過性損益 四半期推移(2019年度)



Enriching lives and the world

#### 【当期利益又は損失(△)】

   (単位:億円)	2019年度実績								
(半位、周刊)	1Q	2Q	3Q	4Q	累計				
金属	60	46	41	△ 651	△ 504				
輸送機•建機	121	100	132	△ 47	305				
インフラ	203	194	51	167	615				
メディア・デジタル	88	100	97	98	383				
生活·不動産	115	146	97	155	513				
資源·化学品	209	123	137	△ 37	432				
合計	796	709	555	△ 315	1,744				
消去又は全社	2	18	34	△ 84	△ 30				
連結	797	727	589	△ 400	1,714				

#### 【一過性損益】

(単位:億円)	2019年度実績								
(单位:思门)	1Q	2Q	3Q	4Q	累計				
金属	0	0	0	△ 670	△ 670				
輸送機•建機	0	0	0	△ 90	△ 90				
インフラ	60	20	△ 90	△ 10	△ 10				
メディア・デジタル	0	0	0	0	0				
生活·不動産	△ 10	80	0	△ 40	30				
資源·化学品	100	△ 20	30	△ 130	△ 20				
合計	140	90	△ 70	△ 930	<b>△ 770</b>				
消去又は全社	0	0	0	0	0				
連結	140	90	△ 70	△ 930	<b>△ 770</b>				

<sup>※</sup>一過性損益は、一億の位を四捨五入して表示しております。

【一過性損益 (年間実績) の主な内容】 ※下線は1Q実績関連分

金属・北米鋼管事業会社減損損失ならびに在庫評価損計上等(約△600)

・その他一過性損益 等 (約△70)

輸送機・建機 ・TBCおよび欧州自動車製造事業の減損損失 等 (約△90)

インフラ ・電力分野における一過性損益 等(約 $\triangle$ 10)

生活・不動産 ・その他一過性利益(約+70)

・その他一過性損失(約△40)

資源・化学品・ジクシス株主再編に係る一過性利益(約+70)

・マダガスカルニッケル事業 未還付VATに係る引当金取崩益(約+30)

・チリ銅・モリブデン鉱山事業における過年度減損に係る税効果(約+30)

・チリ銅・モリブデン鉱山事業向け貸付金評価益(約+20)

・マレーシアマンガン系合金鉄製造販売事業における減損損失(約△40)

・米国タイトオイル・シェールガス事業における減損損失(約△40)

・ボリビア銀・亜鉛・鉛事業における鉱石在庫に関わる評価見直し(約△100)

・資源・エネルギー分野における一過性損益等(約+10)

### 15. 業績推移(1) (PL、キャッシュ・フロー)

Sumitomo Corporation

Enriching lives and the world

(	(単位	:	億F	円)

(中期経営計画)	FOCUS'10 $f(x)$		BBBO2	014	BBBO2017			中期経営計画 2020		
(会計年度)	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
収益	31,002	32,610	30,162	33,174	37,622	40,108	39,970	48,273	53,392	52,998
売上総利益	8,640	9,188	8,270	8,944	9,529	8,941	8,427	9,565	9,232	8,737
販売費及び一般管理費	△ 6,607	△ 6,864	△ 6,571	△ 7,064	△ 7,552	△ 7,627	△ 6,938	△ 7,316	△ 6,476	△ 6,774
利息収支	△ 181	△ 151	△ 158	△ 174	△ 130	△ 26	△ 17	△ 58	△ 116	△ 156
受取配当金	100	112	134	149	172	106	94	107	121	111
持分法による投資損益	956	1,106	1,074	1,262	491	△ 538	835	1,497	1,271	848
有価証券損益	95	148	515	88	124	722	129	278	22	207
固定資産損益	△ 176	△ 90	△ 58	△ 198	△ 2,692	△ 334	△ 197	△ 44	△ 40	△ 618
その他の損益	△ 22	△ 36	△ 16	35	△ 130	158	△ 201	94	25	164
税引前利益(又は損失)	2,805	3,414	3,190	3,042	△ 186	1,401	2,131	4,123	4,040	2,519
法人所得税費用	△ 707	△ 777	△ 753	△ 704	△ 523	△ 515	△ 259	△ 784	△ 662	△ 624
当期利益(又は損失)	2,098	2,637	2,437	2,339	△ 708	886	1,872	3,339	3,378	1,895
当期利益(又は損失) の帰属:										
親会社の所有者	2,002	2,507	2,325	2,231	△ 732	745	1,709	3,085	3,205	1,714
非支配持分	96	130	112	108	24	140	163	254	173	182
基礎収益	2,205	2,515	2,165	2,450	1,840	465	1,931	3,087	3,207	2,220

(単位:億円)

(会計年度)	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,195	1,904	2,803	2,782	2,437	5,997	3,458	2,953	2,689	3,266
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,694	△ 357	△ 1,862	△ 2,499	△ 3,996	△ 854	△ 1,807	△ 1,558	△ 513	△ 2,034
フリーキャッシュ・フロー	△ 2,499	1,547	941	284	△ 1,559	5,143	1,651	1,395	2,176	1,232
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,559	△ 333	△ 247	1,459	△ 748	△ 5,072	△ 2,544	△ 2,296	△ 2,332	△ 577

### 15. 業績推移(2)(BS、主要経営指標)

Sumitomo Corporation

Enriching lives and the world

(単位:億円)

(中期経営計画)	FOCUS'10	f(x)		BBBO2014			BBBO2017	中期経営計画 2020		
(会計年度)	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
資産合計	72,305	72,268	78,328	86,687	90,214	78,178	77,618	77,706	79,165	81,286
親会社の所有者に帰属する持分	15,705	16,891	20,528	24,047	24,814	22,515	23,665	25,582	27,715	25,441
有利子負債 (グロス)	37,674	36,138	38,614	42,389	44,213	36,509	34,183	32,039	30,980	31,894(*)
有利子負債(ネット)	30,563	27,867	29,303	31,235	35,175	27,703	26,279	25,215	24,271	24,688
リスクアセット[RA]	15,000	15,300	18,100	21,900	23,800	22,000	22,400	23,600	22,900	22,800
コア・リスクバッファー[RB]	16,600	16,400	19,500	22,700	23,200	21,400	22,200	23,900	26,400	25,200
バランス (RB-RA)	1,600	1,100	1,400	800	△ 600	△ 600	△ 200	300	3,500	2,400
親会社所有者帰属持分比率(%)	21.7	23.4	26.2	27.7	27.5	28.8	30.5	32.9	35.0	31.3
ROE (%)	12.9	15.4	12.4	10.0	△ 3.0	3.2	7.4	12.5	12.0	6.4
ROA (%)	2.8	3.5	3.1	2.7	△ 0.8	0.9	2.2	4.0	4.1	2.1
Debt-Equity Ratio(ネット)(倍)	1.9	1.6	1.4	1.3	1.4	1.2	1.1	1.0	0.9	1.0

(単位:円)

	(会計年度)	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
当社株価	終値	1,189	1,196	1,178	1,313	1,286.0	1,118.5	1,497.5	1,791.0	1,531.0	1,239.0
	最高値	1,297	1,284	1,276	1,616	1,420.0	1,513.0	1,547.0	2,043.5	1,999.5	1,801.0
	最安値	874	875	984	1,101	1,054.0	983.5	975.5	1,398.0	1,460.0	1,137.0
日経平均終値		9,755.10	10,083.56	12,397.91	14,827.83	19,206.99	16,758.67	18,909.26	21,454.30	21,205.81	18,917.01
発行済株式総数(	千株)	1,250,603	1,250,603	1,250,603	1,250,603	1,250,603	1,250,603	1,250,603	1,250,603	1,250,788	1,250,985
基本的1株当たり当 (親会社の所有者)		160.17	200.52	185.92	178.59	△ 58.64	59.73	136.91	247.13	256.68	137.18

<sup>\*</sup> 自動車販売金融・建機レンタル関連事業会社の有利子負債 611億円 プロジェクト・ファイナンス (ノンリコース型) の有利子負債 1,356億円